

私たちの生活と税金とのつながり～なぜ税金が必要なのかを探ろう～

高島町立糠野目小学校教諭 6学年 守岡 太郎

実施年月日：平成30年12月6日～13日 31名

1 実践計画・指導のねらい

私たちの生活に、税金とは欠かせないものではあるが、子ども達にとっては馴染みのない、遠い存在というイメージが強いように感じた。身近な税金として「消費税」があることはすべての児童が知っていたが、消費税以外の税金の集め方や税金の使われ方について、児童はまだまだ知らないことが多いようだった。児童に「身の回りには、税金が使われているものがたくさんある」ということを気付かせるために、本学習の導入では「税金はみんなが豊かに暮らすために使われている」というヒントだけを授け、「税金の使い道」について予想を立てさせた。その後、ゲストティーチャーによる「租税教室」や教科書・税に関する資料による学習を通して、「こんなところにも税金が使われていたのか!」という発見をもとに、自分たちの生活と税金には密接なつながりがあることを実感させていくように計画した。さらに、実は小学生の自分たちにとっても税金は身近な存在であったことを気づかせられるようにしたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・自分たちの生活を振り返り、グループで「税金とは何か」を考え、伝え合う。	○ <u>税金とは何だろう。また、何に使われているのだろう。</u> ● 買い物する時に消費税って払ってるけど、これも税金だよな。 ● 「道路は税金で作られてる」って聞いたことがある。 ● 建物の他に、どんなことに税金は使われてるんだろう? □副教材「わたしたちのくらしと税金」
2	・租税教室を通して、税金の種類や、その使われ方について知る。	○ <u>税金にどんな種類があるのだろうか。また、税金は必要なのだろうか。</u> ● 消費税。自動車税。所得税。… ● 税金は約50種類に分けられるなんて初めて知った。一部しかあまり知られてない。 ● 税金が無かったら、めちゃくちゃな世の中になってしまうから税金は必要なんだ。 □租税教室(米沢法人会)・税のビデオ(マリンとヤマト)
3	・普段生活している学校の中で、どんなところに税金が使われているのか考える。	○ <u>学校の中で、どんなところに税金が使われているのだろう。</u> ● 租税教室で教科書にも税金が使われてるって教えてもらった。 ● 教室の机やイスも税金が使われているんだね。 ● 学校でもやっぱり税金はみんなが使うものに使われている。 ● ノートや鉛筆とか、自分で用意するものは税金で買ってもらってるわけではないね。買うときに消費税はかかっているけど… □副教材「わたしたちのくらしと税金」
4	・私たちの生活と税金には密接な関係があることを学習した上で、消費税が上がっていくことに賛成か、反対か話し合う。	○ <u>今後消費税が上がっていくことに賛成か、反対か。</u> ● 反対。10%に上がるってことだけでも負担に思ってるのに、未来でもっと消費税が上がっていったら買い物がしにくくなってしまいます。 ● 賛成。消費税が上がった分、いろんなところに税金が使われるようになって、くらしやすくなるのかも。 ● 正直消費税は上がってほしくないけど、「みんなが豊かに暮らすため」にはしょうがないことなのかもしれない。 □副教材「わたしたちのくらしと税金」

【指導のポイント】《1時間目》

税金に関して知っていることを挙げさせた上で、実際にどのような場所・ものなどに税金が使われているのかグループで話し合い、予想を立てさせた。

【指導のポイント】《2時間目》

子ども達が前時の予想をもとに、税金が使われているものと、そうでないものに分けることで、「税金=みんなのために使われている」というイメージを持つことができた。また、税金が無かったらどんな世の中になるか学習することで、税金の必要性も実感することができた。

【指導のポイント】《3時間目》

前時の学習を振り返り、学校での税金の使われ方を考えさせた。また、児童1人当たりの年間教育費の税金の負担額を提示することで、自分達の日ごろの学校生活が税金によって支えられていることに気づかせることができた。

【指導のポイント】《4時間目》

日本の消費税の税率がどのように変化してきたか資料を提示した。また、外国の税率と比較しながら、今後日本の税率がどのように変化していくかを考えさせた。自分達に一番身近な消費税について考えさせることで、自分自身と税金とのつながりを意識させることができた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

◎ 租税教室を通して、普段何気なく生活している中でも、税金が使われているものがたくさんあることに児童たちは気付くことができた。また、「税金=私たちの生活に欠かせないもの」というイメージを学級全体で共有したことで、税金の大切さを実感させることができた。

◎ 消費税の増税に否定的な児童が多くいたが、増えた税金をどのように私たちの生活に役立てていけばよいかという視点で話し合うことができた。

◆ 学習のねらいに合わせて、税の教育に関する資料や地域の外部講師を活用することで学習の幅がより広がっていったのではないかな。

◆ 今回の学習では、たくさんある税の種類について扱いきれなかった。税の必要性に重点をおいての指導でもよいのか。